「心ホカホカ、学力グングン、元気モリモリ」戸石っ子

戸石小学校だより

Happy「戸石っ子」

～山仰ぎ、灘渡り、泉湧く～

令和８年４月１０日号

校長：秋山壽哉

「戸石小、新たな物語のスタートです」

皆さま、はじめまして。本年度、153年もの伝統ある長崎市立戸石小学校に校長として着任いたしました**秋山壽哉**と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

4月9日に58名の1年生を迎え、412名の戸石っ子がそろいました。

戸石小学校には、希望に満ちあふれ、光輝く戸石っ子を、もっともっとハッピーにしようと日々、チームワークを生かして活躍している先生方がいます。それでは、戸石小学校、自慢のスタッフを紹介いたします。

１年　１組
**　　２組**
２年　１組
**　　２組**
３年　１組
**　　２組**
**　　３組**
４年　１組
**　　２組**
５年　１組
**　　２組**
６年　１組
**　　２組**
**　　３組**
ひまわり１組
**　　２組**

あおば　１組
**　　２組**
**　　３組**
なのはな
せせらぎ
ハミング（通級）

プライバシー保護の観点から、
校長以外の教職員等の名前は記載いたしません。
ご了承願います。

教　頭
理科専科
音楽専科
社会科専科等
外国語専科
初任者研修拠点校指導教員

養護助教諭
事務主幹
庁 務 員
教育業務支援員
特別支援教育支援員

給食配膳員
学校図書館司書
ALT（５・６年）
EEI（３・４年）

更に、
校　　医として、　　**先生**
　　先生
歯科校医として、　　**先生**
　　先生
学校薬剤師として、　　**先生**
の5名の学校三師の先生方が子どもたちの健康と成長に関わってくださいます。

そして何よりも、**育友会をはじめとする保護者やご家族の皆さま、地域の皆さまなどたくさんの方々のお力を借りながら、子どもたちの教育・育ちを支え、戸石っ子がたくさんのHappyを増やせるよう向き合ってまいります。**

令和８年度も、何とぞ、よろしくお願いいたします。

※学校だよりのタイトルをどのように決めたかについては、次号にてお伝えいたします。

戸石小学校だより

Happy「戸石っ子」

～山仰ぎ、灘渡り、泉湧く～

令和８年５月２０日号

校長：秋山壽哉

「Happy&Happy 運動会に向けて」

いよいよ4日後に迫った運動会に向け、校内は子どもたちの活気と熱気で満ちあふれています。昨日は、晴天のもとで「全体練習」を行いました。開会式と閉会式の流れを確認しましたが、その姿からは、一人ひとりが運動会を大成功させようという強い意気込みが伝わってきました。

練習の冒頭、体育主任の〇〇教諭から子どもたちへ、全体練習における「二つのめあて」が示されました。

①動きをそろえる

②体ごと相手を見て話を聞く

「動きをそろえる」こと。それは、全校児童の心が一つになって初めて生まれる美しさです。礼のタイミングなど、意識を周りに向けることで、見事な一体感が生まれていました。

「体ごと相手を見て話を聞く」こと。顔だけでなく、胸の向きも真っ直ぐに話し手へと向ける子どもたちの姿からは、互いを尊重し、真剣に学ぼうとする素晴らしい姿勢が見られました。この二つのめあてをしっかりと意識し、ほぼ満点の態度で練習に臨んだ子どもたちを、ぜひご家庭でも褒めてあげてください。













更に、全体練習では、校長から戸石っ子へ、運動会当日に向けて大切にしてほしい「３つの合言葉」を伝えました。

□「心ホカホカ」運動会

勝っても負けても、間違えてもいい、お互いの頑張りを認め合い、「がんばったね」とたたえ合い、拍手を送り合える、優しさと温かさに満ちた運動会にしよう。

□「元気モリモリ」運動会

これまでの練習の成果を出し切り、力いっぱい挑戦する、エネルギー全開の運動会にしよう。

□「みんなでハッピー」運動会

戸石っ子、先生、そして応援してくださる保護者や地域の方々みんなが「楽しかった」「見てよかった」と笑顔とハッピーになれる運動会にしよう。

本番では、競技や演技の技術だけでなく、子どもたちがこれまでの過程で培ってきた「心の成長」もご覧いただけることと思います。

保護者やご家族の皆さまにおかれましては、子どもたちが万全の体調で本番を迎えられるよう、**ご家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」（あ・は・は運動）**と、**多めの水分の持参**にご協力をお願いいたします。

当日は温かいご声援を、どうぞよろしくお願いいたします。

「山仰ぎ、灘渡り、泉湧く」

♪　普賢の山を　仰ぎ見る
　　緑色濃き　この丘に
　大きな夢を　抱きつつ
　　希望は高し　戸石小　♪

本校校歌の１番目の歌詞です。この中の言葉を拝借しました。**自然の豊かさと子どもたちの未来に希望を感じる「山・灘・泉」は、人々が豊かに集うこの戸石にふさわしい言葉**であると私は思います。更に、2番と3番の歌詞**「灘渡り」と「泉湧く」を加えることで、未来に向けて歩み行く子どもたちのと力強さと爽やかさを表現**しました。この学校だよりが、皆さまと学校とをつなぐ架け橋となるよう、今後も随時発行してまいりますので、ぜひお読みいただければ幸いです。

戸石小学校だより
Happy「戸石っ子」
～山仰ぎ、灘渡り、泉湧く～

令和８年５月２９日号
校長：秋山壽哉

「『みんなで Happy!』をカタチにした最高の運動会」

５月24日（日）に予定通り、運動会を開催することができました。早朝よりたくさんのご来賓、保護者やご家族、そして地域の皆様にお越しいただき、温かいご声援を誠にありがとうございました。

開催前は天候が心配されましたが、当日は雨に降られることもなく、まるで戸石っ子たちの熱気を受け止めるかのように、時折、心地よい風が吹く運動会日和となりました。

開会式で、校長は子どもたちと「3つの約束」を確認しました。

「心ほかほか」
（仲間を応援し、お互いをたたえ合うこと）
「元気もりもり」
（失敗を恐れず、今のパワーを発揮すること）
「みんなでハッピー」
（関わる全員が笑顔になる最高の１日にすること）







閉会式を終えた今、確信をもって言えます。
戸石っ子はこの約束を立派に果たし、一人一人がこれ以上ないほどの素晴らしい輝きを放っていました。

転んでも立ち上がってゴールを目指した徒競走、息を合わせてバトンを繋いだリレー。
どの競技にも**「元気もりもり」**全力で挑む姿がありました。そして何より感動したのが、勝敗が決した瞬間の姿です。勝って喜び合いながらも、最後まで走り続ける仲間へ「がんばれ!」と惜しみない拍手を送る姿、お互いの健闘を「がんばったね」と称え合う姿が運動場のあちらこちらで見られました。まさに、学校中が**「心ほかほか」**の優しさに包まれた瞬間でした。

また、学校のリーダーである5･6年生の活躍も見事でした。運動会前の準備はもちろん、当日も自分の係活動に責任をもち、テキパキと動く姿は大変頼もしく、高学年としての誇りを感じさせました。

閉会式で見つめた子どもたちの顔には、心地よい疲れと、それ以上の「やりきった!」という最高の笑顔に満ちあふれていました。

この感動的な運動会は、決して学校だけの力で創り上げられたものではありません。
金曜日の午後から、そして当日の早朝から、会場準備や運営に汗を流してくださった育友会やおやじの会の皆様。そして、子どもたちの応援のために、空にきれいにたなびく「こいのぼり」を上げ直してくださった皆様。皆様の温かい「支え」があったからこそ、子どもたちは安心してスタートラインに立ち、全力を出し切るというゴールテープを切ることができました。

保護者やご家族、地域の皆様の温かい眼差しと拍手が、子どもたちの何よりのエネルギーとなりました。学校、家庭、地域が一体となり、文字通り「みんなで Happy!」になれた最高の運動会であったと感じております。

この運動会で得た自信と、仲間との絆を大きな糧として、これからの学校生活も戸石っ子と教職員が一丸となって、更に一歩前へ進んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

戸石小学校だより

Happy「戸石っ子」

～山仰ぎ、灘渡り、泉湧く～

令和８年７月１４日号

校長：秋山壽哉

「いのちは『ほうせき』」

６月28日（日）から7月2日（木）までの1週間、本校における「戸石っ子の心を見つめる教育週間」の取組を展開しました。

この期間、保護者やご家族、地域、幼稚園・保育所など多くの皆さまにご来校いただき、戸石っ子の頑張る姿をご覧いただくことができました。誠にありがとうございました。

「いのちは『ほうせき』」

これは、6月28日のオンライン集会において、校長が戸石っ子に伝えたメッセージです。

いのちは「ほうせき」

ほかの人と取りかえることができない
うまれる前からだいじにされている
せかいにたったひとつだけの
きせき（奇跡・輝石）、**き**ぼう（希望）

画面越しではありましたが、子どもたちが、校長の話に耳を傾け、真剣に聞いていました。

「戸石っ子一人一人が、未来への『希望』なのです。宝石のように、きらきらと『いのち』を輝かせてください。」

6月28日は日曜授業を行い、「いのち」の尊さやかけがえのなさ、輝き、そして「生きる」ことに関する道徳科の授業を公開しました。

その道徳公開授業に引き続き、**引き渡し訓練**を実施し、子どもたちの「いのちを守る」具体をご家庭と一体的に実践しました。保護者やご家族の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

更にその後、**「子どもを守るネットワーク」**（〇〇〇〇代表）**主催の「強調月間パトロール（100人パトロール）」**が行われました。パトロールには、保護者や地域の皆さま、そして地域消防団の方々もご参加くださり、多くの目で、戸石っ子の安全を見守ってくださいました。重ねてお礼申し上げます。



「本がつなぐ、戸石っ子の心と未来」

図書ボランティア「アオバズク」の皆様には、子どもたちと本との架け橋になっていただき、「心の根っこ」を育んでいただいています。

「アオバズク」の皆さまには、tetoru でその都度配信しております「読み語り」や図書室の環境整備、そして大切に読み継がれてきた本の補修などをしていただいています。

教育週間中の6月29日（月）には、6年生を招待した**「言葉の宝石箱」**を開催していただきました。

①スクリーン絵本『どろぼうがっこう』
②パネル『ことばのおまもり』
③新聞紙シアター『ペーパーさんと王様』
④スクリーン絵本『わたしのせいじゃない』
⑤歌の絵本『しあわせになあれ』

この5つのプログラムで構成され、言葉や音楽、Happy に満ちあふれ、その中に子どもたちの笑顔や真剣なまなざしがありました。体全体で物語を感じながら、真剣に考える場面も見られました。

このように、「アオバズク」の皆さまのお力を借りて、戸石っ子は、**読み語りを通じて、言葉の響きや物語の世界を深く味わう力を育てています。**そして、**親や教師以外の大人と触れ合うことで、社会性や多様な価値観を学びます。**

すばらしい教育効果を与えていただいています。心から感謝申し上げます。



現在、本校では図書ボランティアとして活動してくださる**メンバーを募集**しています。「本が好き」「子どもたちの笑顔が見たい」「おしゃべりがしたい」との思いがあれば十分です。**無理のない範囲で、ご参加いただけます。どなたでも大歓迎です。**

ご興味をおもちの方は、学校までお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

戸石小学校だより

Happy「戸石っ子」

～山仰ぎ、灘渡り、泉湧く～

令和８年７月１７日号

校長：秋山壽哉

「夏休みに高めてほしい3つの力」

保護者や地域の皆様のおかげで、本日、無事に1学期を終えることができました。戸石小学校職員一同、心より感謝申し上げます。明日から、週休日等を含めて45日間の夏休みに入ります。

そこで、子どもたちには、この長期休業を有意義に過ごしてほしいと願い、各学級において具体的な事前指導を行っています。

また、本日の終業式での校長講話では、**「夏休みに高めてほしい3つの力」**について話しました。

①自分の「いのち」を守る力

☆いのちは「ほうせき」

・ほかの人と取りかえることができない
・うまれる前からだいじにされている
・せかいにたったひとつだけの
・きせき（奇跡・輝石）、きぼう（希望）

☆「命に他人のも自分のもありません。奪っちゃいけない大切なものですから…」

・アニメ「名探偵コナン」に登場する毛利 蘭の言葉です。

☆外出時は、熱中症予防と防犯ブザーを携行

②明るく「あいさつ」できる力

☆「あいさつの達人」を目指そう！

・状況や場面にあわせた「あいさつ」
・自分の身近にいる人を元気にする

③「正しく判断」し、決めたことを「やりぬく」力

☆やりたくても、やってはいけないこと
やりたくなくても、やらないといけないこと

・よいこと、それとも悪いこと？
基準は、自分だけではなく、周りの人も

「だいじょうぶ。未来は元気だよ。」

（by ドラえもん）

職員一同、子どもたちにとって充実した夏休みとなることを願っています。

保護者や地域の皆様におかれましても、健康に留意され、有意義な夏を過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

「県民祈りの日」

夏休み期間中の**登校日を８月９日（日）**に実施します。

長崎県では、毎年8月9日を「県民祈りの日」として定め、原爆犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを新たにする日としています。

本校でも、日曜日ではありますが、オンラインによる平和集会を実施し、平和について学ぶ機会として登校日を設けました。子どもたちが平和について考え、想像し、自分事として捉えながら、未来へつなげていく学びを深めたいと考えています。

未来を担う子どもたちが、平和の尊さと命の大切さについて考える機会となることを願っています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、過日ご案内いたしております通り、**8月26日（水）も長崎市中部学校給食センターの試行運用（リハーサル）に伴う登校日**としております。

２６日当日は、育友会の皆さまのご協力をいただき、学校美化活動も行うこととしています。重ねてご理解とご協力をお願いいたします。

「学校閉庁期間についてのお知らせ」

8月10日（月）から8月14日（金）までの期間を「学校閉庁期間」とし、職員が不在となります。

そこで、緊急に連絡が必要な場合には、

[redacted]@gmail.com

あてにご連絡ください。

内容を確認させていただき、状況に応じて適切に対応いたします。

夏休み期間中、子どもは家庭や地域で生活します。各家庭や地域の皆さまにおかれましては、子どもや地域の実態に応じて、子ども達をご指導並びにご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

裏面もお読みください。

裏面

「R7　青少年のインターネット利用環境実態調査」（こども家庭庁実施）より

≪インターネットの利用状況≫

	2　歳	3　歳	4　歳	5　歳
○インターネットを利用している割合	63.5%	64.5%	67.9%	79.6%
○利用目的　①動画視聴	98.0%	95.9%	96.4%	93.4%
○利用目的　②ゲーム	8.1%	16.3%	55.3%	65.9%
○３時間以上利用している割合	13.2%	55.3%	21.4%	19.1%
○５時間以上利用している割合	2.0%	2.0%	2.7%	7.2%

≪保護者の家庭でのこどもへの関与状況≫

	2　歳	3　歳	4　歳	5　歳
○利用するルールを決めている。	55.6%	63.3%	75.9%	80.9%
○何をどれぐらい使っているか把握している。	41.9%	57.6%	59.1%	37.1%
○フィルタリングを利用している。	9.7%	6.1%	11.4%	4.7%

この表をご覧になって、皆様はどのようなことをお感じになるでしょうか。そこには、まさに令和の時代を生きる子どもたちの姿が表れています。

子どもたちは、幼い頃からパソコンやスマートフォン、タブレット端末などに囲まれた環境で育っています。インターネットによる動画視聴やゲーム、コミュニケーションツールの利用も、ごく当たり前のものとなっています。

以前、買い物中に、ベビーカーに乗った小さな子どもと保護者の方を見かけました。

「おりこうさんにしていてね。」

そう声をかけながらスマートフォンを手渡すと、子どもはうれしそうに画面を見つめていました。

確かに、子どもは静かに過ごしてくれます。子育てや仕事、時間などに追われる毎日の中で、保護者の皆様が時間的なゆとりをもちにくいことも十分理解できます。

一方で、**私たち大人は、子どもたちが実際の人や物、自然や社会と触れ合いながら、多くのことを感じたり考えたりする機会を大切にしていく必要があります。**便利なデジタル機器を上手に活用しながらも、実体験を通して豊かな感性やコミュニケーション能力を育んでいきたいものです。

さて、デジタル機器との上手な付き合い方を考える上で、まず知っておきたいのがSNSの利用ルールです。ここで改めて、代表的なSNSの年齢制限について確認してみましょう。

【SNS・サービス名利用開始の目安（利用規約上）】
- □X(旧Twitter)：13歳以上
- □TikTok　　：13歳以上
- □Facebook　：13歳以上
- □Instagram　：13歳以上
- □LINE　：18歳未満の利用者や年齢認証を行っていない利用者については、一部機能が制限

このように、主なSNSの多くは13歳以上を対象としており、児童の多くは利用規約上の対象年齢に達していません。

では、なぜ、このような制限が設けられているのでしょうか。

それは、子どもたちを様々な危険から守るためです。

SNSには、便利な面や楽しい面がある一方で、**誹謗中傷やネットいじめ、不適切な情報との接触、個人情報の流出、見知らぬ人とのトラブルなど、多くの危険も潜んでいます。**また、長時間の利用によって生活習慣が乱れたり、学習時間や睡眠時間が減ったりすることも心配されています。

特に小学生の時期は、人との関わりの中で相手の気持ちを考える力や、自分をコントロールする力を育てていく大切な時期です。そのため、SNSの利用については、「みんなが使っているから」ではなく、「本当に今の自分に必要なのか」という視点で考えることが大切です。

夏休みは、スマートフォンやタブレットに触れる時間が増える時期でもあります。**ご家庭におかれましては、お子様と一緒に利用時間や利用方法について話し合い、家庭のルールを確認していただければ幸いです。**

子どもたちには、画面の向こうの世界だけでなく、家族や友達との会話、地域の行事、自然とのふれあいなど、実際の体験を通して多くのことを感じ、学び、心豊かな夏休みを過ごしてほしいと願っています。

保護者やご家族の皆さまにおかれましては、子どもたちの**「人を見る時間、自然を見る時間、そして本物に触れる時間」**を大切にしていただけるよう、重ねてお願い申し上げます。